



お元気ですか！
志村 たかよし です

第785号 2016年4月10日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

第1回定例会 区長提出39議案

区民の立場にたって、17議案に反対

2月26日から3月30日の日程で開かれた第1回定例会に区長が提出した39議案にたいし、日本共産党は、17議案に反対しました。いずれも区民の立場に立って判

国民健康保険料の値上げに反対

国民健康保険の「保険料率改定」と「均等割額から減額する額の改定」を主な内容とした「中央区国民健康保険条例の一部を改正する条例」が提案されました。

「一般分医療費」と「後期高齢者支援金」の23区合計は、35億円と前年度より減額となっているので保険料を引き下げできるはずでした。

ところが「高額療養費」が23億円の増額になり、これが保険料を押し上げてしまったのです。

23区では、保険料負担軽減のた



断したものです。予算案については、前号でお伝えしましたので、その他の反対した主な議案についてご説明します。

めに、高額療養費を保険の枠から外し一般財源で対応してきました。

しかし、13年12月に、特別区長会は、高額療養費分の一般財源投入を縮小、廃止することを決め、14年度から17年度の4年間で、高額療養費を毎年4分の1ずつ、賦課総額に算入する方針を決めてしまったのです。

そのため、高額療養費の増額が保険料引き上げに連動してしまいました。

日本共産党は「保険料の負担を軽減するために高額療養費の保険料算入は中止すべき」と意見を述べて反対しました。

また「保険料賦課限度額の改定」についても、中間所得層の中で軽減される世帯と負担増となる世帯が生まれる問題を指摘して反対しました。

マイナンバーカードの「危険な」利用拡大に反対

マイナンバーカード（個人番号カード）を使ってコンビニの端末機から住民票の写しと印鑑登録証明書の交付をうけられるようになる条例が提案されました。

マイナンバー制度は問題が多く、中央区でも約1万2千人が通知カードを受け取れずにいます。

また、マイナンバーカード交付を全国的に管理する「地方公共団体情報システム機構」のシステムがたびたび不具合を起こし、中央区でもカード交付が一時できなくなる事態が起きています。

政府も機構も不具合の原因について詳細な理由を明かさないうまま、カード交付を推進しています。

コンビニで証明書が取れる便利さより、民間事業者が設置した端末機を通して個人情報が出し、取り返しのつかない被害が拡大されるデメリットの方がはるかに大きいと考え、議案に反対しました。

超高層建築を進める条例案に反対

晴海地区

選手村跡地に180mの超高層ビル建設を可能にする条例案が提出されました。

この2棟の超高層住宅（左図）は、東京五輪が終わってから建設が始まるので、選手村に使うためではないのです。

まさに、オリンピックを利用して財界・デベロッパーが利益を得るための計画になっています。

中央区の海の玄関となる晴海など



の臨海部での超高層建築物は、風の道をふさぎ、CO2排出を増加させ、内陸部のヒートアイランド現象を悪化させます。

また、大規模開発により、大企業や開発業者は、莫大な利益を得る一方で、行政にはインフラ整備や住民ニーズへの対応など重い負担、将来へのツケが課せられます。

このような大規模開発中心のまちづくりは見直しが必要だと考え、議案に反対しました。

京橋一丁目東地区

「京橋一丁目東地区」のブリジストン旧本社ビルと戸田建設本社ビルの建替えが持ち上がったとき、区の働きかけによって超高層ビル建設を可能としたことを、中央区都市計画審議会で明らかにしたことは、本紙775号でお伝えしました。

今回の議案は、この計画を進めるために提出されたのです。

計画は、9階建てだったブリヂストン旧本社ビルを23階建て、高さ1



50mの超高層ビルへ、同じく9階建ての戸田建設本社ビルを28階建て高さ約180mの超高層ビル（右図）へ建替えることを主な内容にしています。

戸田建設は「本社ビルの一部で賃貸事業等を行う予定」（15年9月11日）と述べているように、事業者は超高層ビルで生まれた床（フロアー）によって多大な利益を生むことには目に見えています。

「地球温暖化」の主役であるCO2の年間排出量は5723tから9498tへと約1.7倍にもなり、

東京駅前の
「八重洲1丁目6地区」

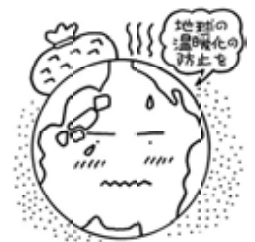
「八重洲2丁目1地区」の
超高層ビル計画によるCO

2発生量を合計すると、約2・1倍の2万1113tへと激増させてしまいます。

集中する自動車増による排気ガス、高層ビル林立による風の道の遮へいによる汚染大気の滞留など東京駅周辺の環境悪化に拍車をかけることでしょう。

また、東京駅前地区の大規模開発は、景観や環境の悪化とともに、八重洲・京橋などの歴史と文化が育んできた町並みをこわします。

すでに破綻している「東京一極集中」の幻想のもとで、「住民奉仕」という自治体本例の役割を後景に押しやり、「国際競争に勝ち抜く」都市づくりで力とカネを注ぐ「中央区のまちづくり」の問題点を指摘して議案に反対しました。



「意見」要望など、お気軽に「連絡ください」(03-6360-0000)

ブログもごらんください

志村たかよしワールド

検索